

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	14_神奈川県
市区町村名	143821_箱根町
自治体区分	

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
143821_箱根町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	・児童が安全・安心に過ごすことができる居場所づくりをする。 ・補助対象前から実施していた学校ボランティアによる放課後学習指導の趣旨を継続する。	参加希望児童に対し、算数の「基礎的・基本的な知識や技能の習得および活用力の向上を目指す」という目標に向け、放課後の時間を活用し、地域の方々の協力を得ながら学習支援を行う。併せて、単なる計算練習の場で終わらないよう、算数以外のことにも取り組み、児童の自己肯定感の向上を図る。	単なるテストの点の上昇ではなく、児童自身が自ら勉強したという達成感を持ってもらうようにする。	参加児童・保護者に対する満足度調査アンケート。			60	86	4 参加児童にアンケートを実施し、満足度を調査したところ、86%の実績値が得られた。特に低学年は参加率も良く、意欲的に取り組む姿が見られた。また、教室内で出来なかった問題は家庭へ持ち帰り学習してもらうことで、家庭等における学習習慣の定着に繋げることが出来た。	https://www.town.hakone.kanagawa.jp/www/contents/1710810377582/index.html
143821_箱根町	③学校と家庭の課題	その他	・町内に公立高等学校や塾がないため、高校受験に対する意識が乏しく、志望校など目標設定が難しい。 ・町外の塾に通う費用や交通費、保護者の送迎等が家庭の経済的な負担となっている。	・高校受験のノウハウに精通し、予備校や個別指導教室等を経営する民間企業に委託し、学習支援の場を提供する。 ・受講生及び保護者に対して、入試の仕組みや入試問題の傾向、学習方法など入試に関する情報を提供し、高校受験に向けて学習効果を高める。	受講生自らが志望校を定め、目標に向かって学習に取り組む。	志望する高等学校への合格率。	100	%	90	100	3 ・少人数の受講生に対し、講師1名で行う指導による効果や、ICTの活用による効率的なインプットを行い、演習後に解答に至るプロセスを発表することで、思考力・判断力・表現力を向上させ、受講生の学習意欲・受験に対する意識が向上し、目標の達成に繋がったと考えられる。 ・志望動機を明確にした上で、志望校の過去3年分の倍率・合格点平均・特徴などを集約し、受講生向けのガイダンスなどを実施することにより、数値目標が明確になったことで入試に関わる定期テストに対する意識も変化した。 ・受講生には学習相談、保護者にはお便りによる情報発信と個別の進路相談窓口を設け、入試情報の提供と学習状況の共有を行った。保護者にも情報共有することで家庭にも必要な情報を提供ができた。	https://www.town.hakone.kanagawa.jp/www/contents/1710810377582/index.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。